令和５年度　第２学年だより　Ｎｏ．０７　　発行日：令和５年６月９日
練馬区立石神井西中学校

昴～SUBARU～

すばるとは、「たくさんのものを結んで一つにまとまる」という意味があります。2学年199人も一つになろう！

運動会を終えて

　練習から一生懸命に取り組んだ運動会が終わりました。学んだことは人それぞれですが、どれも貴重な経験に違いありません。その一端を感じられる運動会後の作文を、少しだけご紹介します。

〇すごく練習してきたマスゲームは、拍手がおこるたびに嬉しさが込み上げてきたし、熱心に見てくれている人たちを見るとますます演技への集中が高くなった。最後の両手を合わせて手で音を鳴らせ、終わった瞬間ものすごい拍手が起こり今まで練習を真剣にしてきてよかったという気持ちや達成感があふれてきた。

〇自分は、この運動会で、何事も本気で取り組んだもの勝ちだということを学びました。
これからも、勉強も部活も、学校行事も、目一杯努力して、ダメだったら仕方ない。でもそれまでどれだけ全力で取り組んだかという過程を大事にしていこうと思いました。

〇一秒今時（いちびょうこんじ）。小学生の頃、私がつくった四字熟語です。意味は「この一秒は今しかない時間」という意味です。（中略）この言葉を思い出してから私は皆に心から笑顔で応援した挨拶できたと思います。いつもは憎たらしい弟ですが、その日だけは感謝です。

〇最後に人との関わりです。自分が終わったら休む、ではなく、相手だとしても応援していたり、別の学年でも応援し合っていて気持ちよく運動会ができました。このようなことがあって優勝して喜べたり、たとえ最下位だとしても楽しくできたのだと思いました。これからの行事もこの運動会のようにみんなで協力してできるといいと思いました。

〇この運動会では、みんな一人ひとりがしっかり動き、協力をしたことで見ている人を感動させるものができたのだと思います。運動会は順位はつきますが、私は順位とは関係なく、みんなで協力し、見ている人を感動させるものを作れたので大成功だと思います。来年の運動会は、今年を超える最高の運動会にしたいです。

　何事にも真剣に取り組む姿は見る人の心を動かすと改めて感じた運動会でした。でも何より君たち自身が、真剣にやることの面白さや楽しさ、達成感を味わう喜びを感じたのではないでしょうか。中学校には、そういう経験ができる場面がたくさんあります。これからある行事、日々の学校生活、人との関わり合い。そろそろ折り返しを迎える中学校生活で、そんな経験をたくさんしてほしいです。